

法政大学人間環境学部金藤研究会 -企業/地域の持続的成長のためのビジネスデザイン-

研究会の紹介



研究会では、現在11チームで、国内外の企業や地域で発生している経済的、環境的、社会的な課題を解決し、持続可能性を高めていくビジネスモデルの構築のために研究・調査を実施しています。

研究内容の紹介

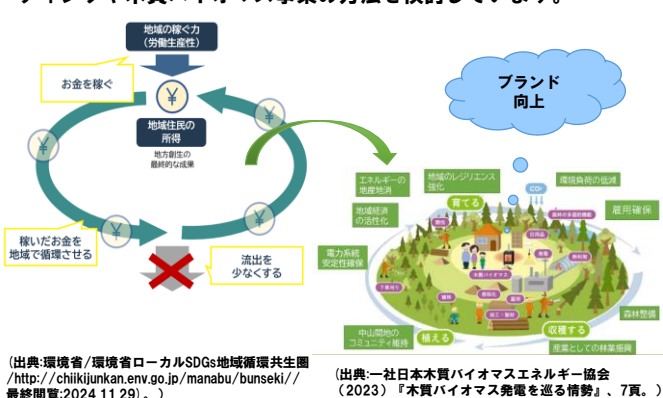
フードロス・衣服ロス対策

サプライチェーンやサーキュラー・エコノミーの概念をもとに、国内で発生するフードロスや衣服ロスとともに、関連する環境負荷を減少させるビジネスモデルを検討しています。



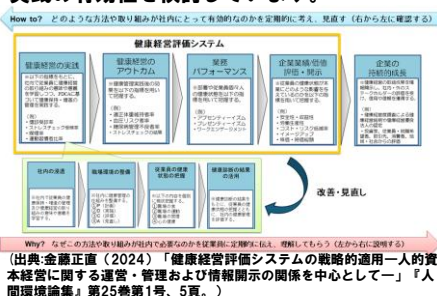
地域ビジネス/木質バイオマス発電事業

地域循環共生圏（ローカルSDGs）の概念をもとに、エリアブランディングや木質バイオマス事業の方法を検討しています。



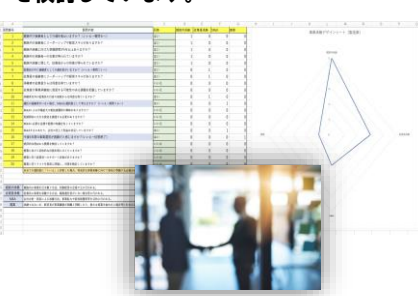
健康経営・人的資本経営

中小企業の健康経営・人的資本経営の浸透とその後の取り組み方やその効果を通じて経営実践の有効性を検討しています。



中小企業の事業承継

独自の事業承継デザインシートを活用し、各社に相応しい事業承継や経営戦略の方法を検討しています。



サステナビリティ消費行動

環境・社会課題に関心が高いが、行動に結びついていない消費者の意識や行動を変える商品開発・販売の方法を検討しています。



持続可能なエンタメ経営

エンタメ業界の持続可能な経営の展開方法を探るために、国内のミニシアターの存在意義について検討しています。



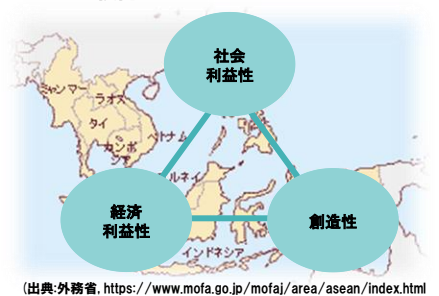
サービス・イノベーション

企業におけるサービスの品質を高め、持続的な成長を行っていくための経営方法について、地域航空会社を中心に検討しています。



途上国ビジネスの新展開

途上国で発生している社会問題（貧困等）を解決し、持続的な成長も可能とするビジネスモデルを検討しています。



現状と今後の展開

現在、国内企業や地域と連携し、理論構築や理論検証を実施しているチームがありますので、進捗状況や今後の展開については、会場にいるそのチームのメンバーが説明します。